

広報 なぎじん

No. 84

1982年 11月

村章

(毎月1日発行)



▲健やかに育て、未来を支える子どもたち

10月22日仲宗根保育所で、10月24日中央、仲尾次、今帰仁保育所で運動会が行われた。中には泣き出す園児もいたが元気一ぱいに日頃の練習の成果を披露した。

(写真=中央保育所)

村の人口(昭和57年9月30日現在)

9,900人(-9)

()内は前月比



5,013人(-2)



4,887人(-7)



世帯数 2785戸 (-3)

編集発行：今帰仁村役場総務課秘書広報係
〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話098056-2101

印刷：沖縄高速印刷株式会社
南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

今月号の主な内容

- 二・三 第三十七回村陸上
今泊チームが総合優勝
一年間のまどめを発表
障害児保育を実施した中央保育所
文化の日に寄せて
今帰仁は最高の文化村
黒島直太
- 六 五十五年国調から
村の労働力率と失業率
村民コーナー・私の一言
久美里慕情
字今泊三〇一
仲宗根 哲夫
- 八・九 今帰仁間切
諸喜田福保勤職書・辞令書
若き後継者たち
酪農を始めて三年
今泊の大城克彦さん
十一月は国民年金推進月間
期間中相談・説明会を開催
- 七 七
- 十一 十一

種目別順位と記録

種目	順位	1位			2位			3位		
		氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録
一般男子										
100M		謝花 篤	謝	11' 4"	仲本 満	今	11' 5"	鳥袋 輝也	兼	11' 7"
200M		新城 満	今	24' 9"	鳥袋 幸輝	兼	25'	玉城 清光	湧	25' 6"
400M		伊波 広嗣	宗	56' 8"	鳥袋 輝也	兼	56' 9"	我那覇宗康	謝	57' 0"
800M		喜納 政成	宗	2' 16" 2"	中島 安則	今	2' 20" 2"	荻堂 吉也	謝	2' 20" 9"
1500M		上間 哲	今	4' 21" 8"	嘉陽 宗真	今	4' 22" 6"	荻堂 吉也	謝	4' 45" 7"
5000M		石川 達義	湧	15' 56" 6"	浜里 正己	宗	16' 10" 1"	嘉陽 宗真	今	16' 41" 6"
10KM		石川 達義	湧	33' 38"	上間 直樹	今	33' 47" 0"	浜里 正己	今	35' 24"
20KM		上間 哲男	今	1' 22" 22"	糸州 朝光	今	1' 25" 58"	神谷 繁伸	今	1' 32" 38"
110MH		山城 正樹	宗	16" 8"	鳥袋 幸輝	兼	17" 8"	嘉数 治樹	今	19" 7"
400MR		今泊チーム		49" 8"	湧川チーム		50" 2"	仲宗根チーム		50" 6"
1600MR		兼諸チーム		3' 53" 0"	湧川チーム		3' 53" 4"	今泊チーム		3' 54"
走高跳		山城 正樹	宗	1米75	新川 克春	兼	1米75	嘉陽 宗弘	玉	1米65
走巾跳		大嶺 敦	謝	6米28	新城 満	今	6米27	与那嶺良文	兼	6米09
三段跳		仲本 満	今	13米11	大嶺 敦	謝	13米	与那嶺良文	兼	12米63
棒高跳		謝花 喜和	天	3米10	与那嶺直樹	仲	3米	山城 直樹	天	2米60
砲丸投		金城 秀樹	謝	10米06	石嶺 光俊	崎	9米68	上里 朝和	天	9米55
円盤投		与那嶺勝明	今	31米30	内間 一仁	兼	30米72	真栄田 修	天	30米46
ヤリ投		宮里 政伸	謝	43米60	知念 昭英	仲	41米00	嶺井 政康	天	39米25
年令別R		今泊チーム		48" 2"	謝越チーム		51" 0"	仲宗根チーム		51" 2"
30代										
100M		大城 政秀	崎	12" 1"	嘉数 照光	今	12" 2"	鳥袋 宗弘	仲	12" 4"
1500M		松本 利夫	謝	4' 52" 1"	上里 光秀	今	4' 54" 2"	新城 正男	天	4' 55" 2"
走高跳		山田 重実	湧	1米64	大城 秀輝	兼	1米60	照屋 全弘	天	1米60
砲丸投		平安 常弘	宗	9米52	運天 順一	勢	9米43	仲間 和徳	天	9米35
40代										
100M		諸喜田信夫	兼	12" 5"	仲宗根武一	今	12" 5"	仲伊部正人	勢	12" 7"
800M		仲本 光秀	今	2' 20" 4"	金城 幸一	兼	2' 21" 4"	金城 忠徳	古	2' 26" 7"
走巾跳		金城 幸一	兼	5米22	仲伊部正人	勢	5米18	仲松 弥一	湧	5米11
円盤投		田港 朝和	天	27米61	大城 政年	謝	26米57	大城 藤夫	兼	26米03
50代										
100M		光武 俊和	今	13" 6"	金城 新治	仲	14" 0"	渡久地宗一	宗	15" 6"
砲丸投		与那嶺 勝	今	9米85	山城 金長	玉	9米38	久田 友清	天	9米17
一般女子										
100M		比嘉 広美	玉	14" 1"	上地 章子	宗	15" 1"	宮里真由美	越	15" 5"
200M		比嘉 広美	玉	29" 9"	玉城 末子	兼	33" 4"	宮里真由美	今	33" 6"
400M		比嘉 昭子	玉	1' 05"	松田江利子	宗	1' 22"	仲本り子	今	1' 25"
800M		比嘉 昭子	玉	2' 31"	諸喜田礼子	勢	3' 04" 6"	西島 清美	今	3' 41" 7"
100MH		嘉陽るみ子	湧	20"	大城美由記	兼	22" 3"	親川 香利	謝	22" 6"
400MR		玉呉チーム		1' 01" 0"	湧川チーム		1' 02"	仲宗根チーム		1' 02" 3"
走高跳		親川 香利	謝	1米35	上間 弘美	崎	1米25	喜納 貴子	宗	1米25
走巾跳		上地 章子	宗	4米18	嘉陽るみ子	湧	4米03	川上 恵子	天	3米89
砲丸投		与那嶺悦子	宗	8米63	喜屋武孝子	天	8米33	大城 睦子	兼	7米70
円盤投		与那嶺悦子	宗	24米82	玉城 明美	今	23米43	喜屋武孝子	天	21米63
ヤリ投		玉城 明美	今	28米29	与那嶺尚子	崎	24米27	大城 友子	勢	22米64

赤印は新記録・ゴシックはタイ記録



▲総合男子優勝の今泊チーム



▲女子優勝の仲宗根チーム



▲女子四百・八百に新記録を樹立した比嘉昭子選手(右)と百・二百優勝の比嘉広美選手(左)



▲男子100メートル決勝



▲開会式で選手宣誓をする今泊の仲本満選手

今泊チームが総合優勝

男子今泊・女子仲宗根に栄冠

第三七回村陸上

大会は秋晴れのもと四〇種目にわたって熱戦が展開されました。そのうち、男子五千メートル(石川達義、浜里正己)一万メートル(石川達義)百十メートルハードル(山城正樹)千六百メートルリレー(兼諸、湧川)女子四百メートル(比嘉昭子)八百メートル(比嘉昭子)三十代走高跳(山田重実)に新記録が樹立されました。

総合優勝、ならびに男子・女子優勝は次のとおりです。

◎総合優勝—今泊、準優勝—仲宗根、三位—兼諸、四位—謝越、五位—湧川、六位—玉呉、七位—天底、八位—与仲、九位—崎平、十位—勢渡、十一位—古宇利、十二位—両運



▲男子1,500メートル決勝(左端は優勝した上間選手)

三位—兼諸(八〇・五五)四位—謝越(六二・二二)五位—湧川(五四・四四)六位—天底(四四・四四)七位—玉呉(三九・三九)八位—与仲(三六・三六)九位—崎平(二七・二七)十位—古宇利(二〇・二〇)十一位—勢渡(一九・一九)十二位—両運(八・八)

◎女子優勝—仲宗根(三九・三九)準優勝—玉呉(三四・三四)三位—兼諸(二八・二八)四位—謝越(二四・二四)五位—湧川(二二・二二)六位—今泊(一九・一九)七位—与仲(一八・一八)八位—崎平(一七・一七)九位—天底(一二・一二)十位—勢渡(九・九)十一位—古宇利(二・二)十二位—両運(二・二)

なお、恒例の男子最優秀選手賞(村長)は三十代走高跳に新記録を樹立した山田重実選手に、女子最優秀選手賞(議長賞)は四百及び八百メートルに新記録

村体協(内間敏会長)主催による「第三七回村陸上競技大会」が、十月十日村営グラウンドで行われた。当日は、快晴の絶好のスポーツ日和。午前八時半からの開会式に続き、男子十九種目、女子十一種目、壮年の部十種目に技を競った。熱戦の結果、男子は一昨年、昨年に続き今泊チーム、女子は久々に仲宗根チームが制覇した。総合は、今泊チームが三年連続優勝を飾った。

今大会は新旧の移り変わりといわれるほど新人選手の躍進がめざましく、郡大会での活躍が期待されている。また、七種目に九個の大会新記録、一種目にタイ記録がうまれた。

男子一万メートル・女子四百メートルなど七種目に九個の新記録

また、今大会において、長年剣道の普及高揚に努めた嘉手納典一、仲原武一、村上仁賢、山内昌敏の四氏に感謝状、村スポ



▲八氏が表彰

を樹立した比嘉昭子選手に贈られました。

大会で

一ツ振興に寄与した仲宗根次郎氏に功労賞、長年選手として活躍した与那嶺悦子、大城洋子、上間哲男の各選手に優秀選手賞が、それぞれ村体協より贈られました。(写真右)

☆障害児保育を実施した中央保育所☆

村では、昨年(一九八一年)の国際障害者年を契機として、村立中央保育所(名城敏子主任)において障害児保育を実施しました。今年(一九八二年)は、これまで村立の四つの保育所では、保育に欠けるすべての子どもたちが健やかに育つようにという願いを込めて業務を行ってまいりました。その意味で、障害児と健常児と一緒にした混合保育は、村の保育事業の理念であったわけでは



▲成果と今後の課題について発表する保母

いちがい障害児保育といっても、その症状、年齢、生活環境によって大きな変化がみられず。それだけに、受け入れ側としては、期待とともに大きな不安もありました。初年度の昨年六月には二人、八月には一人の計三人を受け入れ、保育が始まりました。担当した保育所及び

保母にとつては、初めての試みということもあって、この一年間並々ならぬ苦労があったようです。

保育所を管轄する厚生課(新垣侃課長)では、これら一年のあゆみを記録した冊子「今帰仁

どもが園の中にとけ込んだ様子その子どもを温かく迎えた園児たち、一年間の保母の苦勞と喜び、母親の感謝の気持ち……など、保母、助言者、保護者の立場から、障害児保育の意義・今

和泊町商工会青年部と交換

村商工会青年部

鹿兒島県和泊町(沖永良部)商工会青年部(沖正雄部長)十人が、十月七日本村を訪れた。これは、以前に村商工会が同町を訪問したのをきっかけに、これからも交流を深めようと企画されたもの。

七日午後には、ソフトボールで交換。結果は、地元チームに花を持たせたとの声もあり、少差で村商工会チームの勝ち。話題を七時半からの懇談会に移した。

懇談会には、両町村青年部のほか、村商工会役員、村長、議長も出席し、和やかな雰囲気の中で進められた。また、村青年部を代表して金良部長は「地域の発展と組織強化のため、今後

後の課題について発表が行われました。また、報告書の中で松田村長は「この事業はやっと二年を迎えたばかりで、成果を云々するのは時期尚早かも知れない。けれども今後の保育業務に与えた影響は計り知れないものがある。この報告書がこれからの保育の指針となることを願う」と結んでいます。

も末永く交流しよう」とあいさつ。また松田村長も「農村地域の商工業は困難性も多いが、両町村の特性をいかした観光開発産業振興で飛躍的發展を望みたい」と歓迎のあいさつを述べた。

次いで宮里商工会顧問の乾杯の合図で、持ち寄った焼酎、泡盛で親睦を図った。和泊町は、人口、面積、産業構成など、ほとんど本村と同規模で、フリージ



▲和やかに自己紹介する両町村商工会青年部の皆さん

報告書はB五版、四五ページ、村長、厚生課長あいさつの外、実施に至るまでの記録、個人経過記録、担当保母のレポート、さらに村駐在保健婦、指導者のことばなどが収録されています。紙面の都合で詳しく紹介できませんが、この冊子希望の方は村役場厚生課へご連絡下さい。無料ですし上げます。

ア、えらぶユリの産地で知られる。また観光地としてもクロウズアップされており、発展が期待される地域。両町村商工会が今後とも交流を深め、地域の産業振興に役立ててほしいものである。

十一月三日 文化の日に寄せて

ささやかな試み

大学を定年退職なさった七十歳の夫妻が、あなたかい沖繩で冬を越したいとのことで、今帰仁に住んでみてもらうことにし、昨年十二月中旬から今年三月中旬までの三ヶ月間、玉城の平良正男さんの別棟にお世話になった。

先生は毎日のようにつりに出かけた。ミニバイクで備瀬岬から湧川マリナまでの海岸を訪ね歩いたり、奥さんは中央公民館や私の本だなかから好きな読み物や沖繩関係の本をあさり出して読みふけたり、村内をぶらりと散歩したり、時には「ソームンチャンプル」や「モイトーフ」などの料理をいっしょに作ったりし、また夜は、時折集まって、あわもりを汲み交わしながら平良正男さんの三味線を鑑賞したり、今帰仁の将来像を語り合ったりしたものである。天気の良い日など夫婦そろって、乙羽岳、嵐山、北山城跡、海洋博公園、八重岳さくら祭り、半島めぐり等をたのしんだりしているうちに、浦島太郎のよう

にあつという間に三ヶ月の寒さ知らずの冬が去り、まだまだしたい皆さんの思いを残して帰途につかれたのである。

総合事務局の調査から

ごく最近、琉球新報の保養基地の記事の中に、総合事務局の調査報告があった。東京・神戸



・酒田市の六十歳以上の一二五〇人のアンケートによると、県外旅行の行き先の一位は北海道、二位は沖繩である。沖繩に来た人々のうち六〇％はまた行きたいと答え、更に全体の九〇％が沖繩に行ってみたいと答えている。そのうち、是非行きたい二八％、一度は行ってみたい一六％でこの積極的な希望者は合わせて四四％となっている。

いちばん今帰仁が最適

一ヶ月以上ゆっくり滞在してもらうには次のような条件が備わっていないと、思わなければならぬ。

- 一、自然環境に恵まれていること。
- 二、のんびり安心して暮らせること。
- 三、個性豊かな文化を持つこと。

最高の文化村

黒島直太 (仲宗根 元中学校長)

二、のんびり安心して暮らせること。自然環境だけなら、石垣、竹富などもよいが、高齢者の場合は医療関係、本土との交通の便など考えあわせるとやはり本村にはかなわない。高齢者には都会でもなく、田舎でもない今帰仁のようところがいちばん暮らしやすいのである。

三、個性豊かな文化を持つこと。「なきじん」ということは、文字そのものから沖繩独特で、本土の人からすると実に珍らしい村名である。それに加えて、北山城、運天港の史蹟や古宇利島の伝説、ミヤークニー、湧川の路次楽、棒術などその外一村としては他に例をみないほど文化とその遺産に恵まれている。

視野の広い村民に

以上紙数を気にしてことばをけずり捨てつつ書き流してきたが、今、私たちの周囲を見まわすと、実に多くの娘たちや息子たちが北は北海道から南は九州までの各県に嫁に行ったり、嫁を貰ったりしている。私たちはそのつながりを大事にし、もつと今帰仁を正しく理解してもらうために、その家族や親せき、知人等に積極的にはたらきかけたり、受け入れたりする必要があるのではなからうか。

冬は熟年の人々を日本各地からあたたかくむかえ、夏はヤングの自由奔放を受け入れ、広く日本各地との人情と文化の交流を深め、視野の広い全日本の村民となつとも、村経済をもつるおす一助にもしたいものである。今帰仁こそ正に県下一の保養・文化長寿の諸条件を兼ね備えた素晴らしい村である。





55年国調が 村の労働力率と失業率

労働力も物価と同様、需要と供給のバランスに左右されます。経済の好不況の影響を受け、労働力不足をきたしたり、失業者を出したりします。このような労働力状態を把握する手がかりとして、労働力率とか失業率などが用いられます。今帰仁村の場合はどうでしょうか。

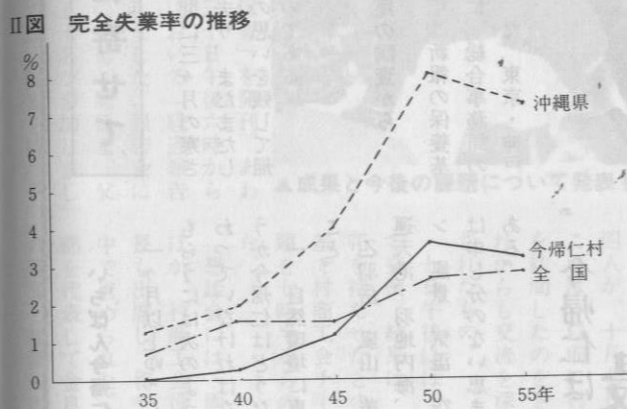
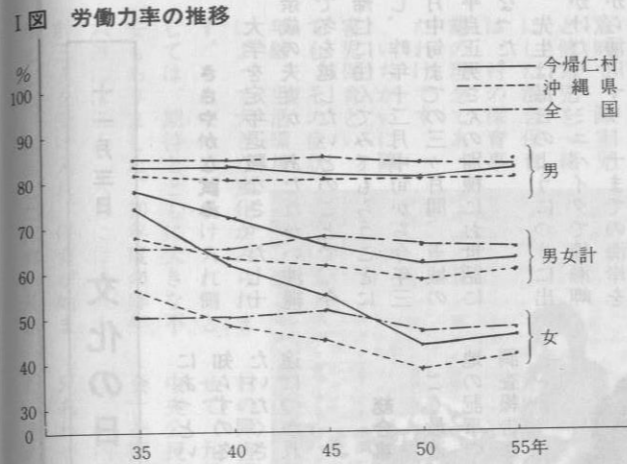
県より高い労働力率
昭和五十五年現在、十五歳以上人口七、〇七二人のうち、就業者は四、二四二人、完全失業者は一四六人で、この両者を合わせた労働力人口は四、三八九人で、十五歳以上人口に占める

割合(労働力率)は六二、一%となつています。一方、経済活動に従事していない非労働力人口は二、六六九人、三七・七%となつています。

I図で、労働力率の推移(男女計)をみると、減少化傾向を示してきていることがわかります。昭和五十年にはオイルショックの影響もあつてか落ち込みがみられますが、五十五年には一・二ポイント持ち直してあります。これを県平均と比較すると、ずっと高い割合を維持し続けています。しかし、次第にその差は縮まり、五十五年には二・六ポイント差とせまっています。

本村は県内で高齢人口の割合が著るしく高いほうではあります。が、農村であり高齢者でも農業に従事し得るといふことと、通学圏内に大学・専門学校などが少ないのが影響して高い割合となつていられると考えられます。全国平均は横ばいで、昭和四十五年以降は本村より高い率を示しています。しかし農村社会も都市化しつつあるので、いずれ並ぶものと予想されます。

女子の労働力率の低下が大きい
労働力率を男女別にみると、昭和五十五年現在男子が二、六一人、八〇・三%、女子は一、



第1表 労働力状態・男女別15歳以上人口(昭和55年)

	総数	労働力人口			非労働力人口
		総数	就業者数	完全失業者	
計	7,072	4,389 (62.1%)	4,243	146 (3.3%)	2,669 (37.7%)
今帰仁村					
男	3,351	2,691 (80.3%)	2,580	111 (4.1%)	659 (19.7%)
女	3,721	1,698 (45.6%)	1,663	35 (2.1%)	2,010 (54.0%)
沖繩県					
計	779,993	464,374 (59.5%)	428,729	35,645 (7.7%)	313,857 (40.2%)
男	376,772	300,122 (79.7%)	274,989	25,133 (8.4%)	76,037 (20.2%)
女	403,221	164,252 (40.7%)	153,740	10,512 (6.4%)	237,820 (59.0%)
全国					
計	89,329,768	57,231,120 (64.1%)	55,811,309	1,419,811 (2.5%)	32,098,648 (35.9%)
男	43,390,691	35,646,666 (82.2%)	34,647,358	999,308 (2.8%)	7,744,025 (17.8%)
女	45,939,077	21,584,454 (47.0%)	21,163,951	420,503 (1.9%)	24,354,623 (53.0%)

六九八人、四五・六%となつています。推移をみると、男子はあまり変化はみられませんが、女子は著るしく減少してきています。昭和四十五年までは全国よりはるかに高かったのですが、五十年には逆に低くなり、五十年には一・二ポイント差と、ほぼ同率となつています。以前は夫婦とも野良に出ていたのが、妻は家事専業と現代的なパターンへと化していったのでしよう。また県平均より全国平均のほうが高いことから、沖縄の女性は働き者といった説は、必ずしもあてはまらないのかも知れません。或いは働きたくても女性の職場が少ないのかも知れません。

完全失業率が三・三%

農業が産業のほとんどを占めていたころは、失業者はほとんどいませんでした。昭和三十五年に完全失業率(労働力人口に占める完全失業者の割合)が〇・〇%であつたのが、次第に増加し、石油危機の五十年に三・七%五十五年には三・三%と依然三%台の失業率を維持しています。しかしながら、昭和五十五年の全国の失業率が二・五%であるのに対し、沖縄県は七・七%と約三倍と高く、今帰仁村の場合県内においてはまだ低いといえます。(企画財政課統計係)



伊野波の石くびれ 無蔵つれてのぼる にやへも石くびれ 遠さやあらね と伊野波節は古くから歌に詠まれ、最近ではカラオケから石原節子の「石くびり」が流れない日はない程大ヒットしているが、今泊のクビリは一度も歌になつた事はない。

今泊の久美里はミジパイとニクン川原の下流にあり、東支那海との接点に位置する。かつてはマングローブが生い茂り、ひょうきん者のトンジャミが飛びはね、赤い爪をしたカニ(シオマネキ)が群をなしていた。そして子どもたちが魚を釣ったり泳いだりする絶好の遊び場であつた。小生は久美里で二回も溺れて従兄に助けられ、以来海が怖くなつてゐる。また久美里は、おばさん達がイモを洗う際等の情報交換の場でもあつた。それにつけても脳裏に鮮やかに残っているのは、久美里に付んでいた祖父の姿である。祖父は久美里からジーツと目をグン

久美里慕情

字今泊三一〇一
仲宗根 哲夫
(今泊区長)

カンシーブイに向けて何事か物思いにふけつてゐる風であつた。その祖父は無学であつたが、私達に多くの示唆を与えてくれた。人間生れる時から金持ちと貧乏人の種があるのではない、金持ちになるかどうかは自分の努力次第だとか、他人に自分の事を良く思つてくれと頼んでもだめだ、他人によく思われるのは自分自身の心にある、と語る言葉には値千金の重みがあつた。

祖父のクシャミの大きさは近所でも評判だつた。小生は何も祖父に真似るのはないが、クシャミだけは大きくするようになっている。ハックション。その祖父も鬼籍に入つて早や十年余。祖父が久美里で何を考えていたか、今では知るよすがもない。ヒルギが生い茂り、トンジャミやガサミの住み家であつた清き流れの久美里も黄色く濁り、生物を追い出してしまった。私達はめまぐるしく移り変わる社会の中で、周囲の素晴らしい文化

や自然を忘れがちになつてはいないだろうか?今、私達は原点に立ち帰つて故里の歴史・文化・自然に目をやるべき時が来たよ。うな気がしてならない。呼び戻そう多くの魚が泳ぐ久美里をよみ返らそう清き流れの久美里を!故里久美里!マイラブ!

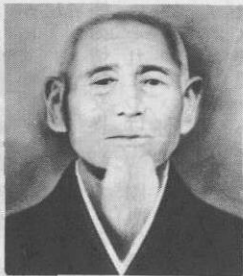
このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場総務課秘書広報係までお寄せ下さい。なお、ご意見は四百字以内、原稿用紙二枚程度で、住所、氏名、職業を添えて下さい。※あて先 今帰仁村字仲宗根二一九 村役場総務課秘書広報係 (TEL二一九一)

村から28頭が出品 北部地区畜産共進会

北部振興会主催による「第七回北部地区畜産共進会」が、十月十五日村家畜セリ市場で開催されました。共進会は、十一月五日から開かれる県共進会への選考と兼ねたもので、繁殖牛、乳用牛・種豚・肉牛の四部門十ニ類に北部十一市町村から百十頭が出品され審査が行われた。村からも、先の畜産共進会で優秀な成績をおさめた牛豚二八頭が出品された。その結果、繁殖牛・乳用牛部門では優等を逸したものの、種豚・経産Aで田港朝明さん(字湧川五二六)と壮齡雄で仲本達美さん(字崎山一五三)が見事優等に輝いた。なお、村内の入賞者は次のとおりです。

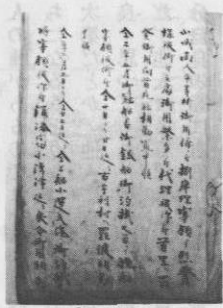
- ◎繁殖牛・第一類経産 一等一 小浜守儀(玉城九二五)
- ◎繁殖牛・第一類経産 二等一 湧川登(勢理客六五)
- ◎繁殖牛・第二類未經産 一等一 仲本達美(崎山一五三)
- ◎種豚・若齡雄 優等一 仲本達美(崎山一五三)
- ◎種豚・壯齡雄 二等一 具志忠吉(渡喜仁一〇七七)
- ◎乳用牛・種豚・肉牛の四部門十ニ類に北部十一市町村から百十頭が出品され審査が行われた。
- ◎繁殖牛・第一類経産 一等一 仲本達美(崎山一五三)
- ◎種豚・経産A 優等一 田港朝明(湧川五二六)
- ◎種豚・経産B 優等一 仲本達美(崎山一五三)
- ◎種豚・未經産 優等一 仲本達美(崎山一五三)
- ◎種豚・若齡雄 優等一 仲本達美(崎山一五三)
- ◎種豚・壯齡雄 二等一 具志忠吉(渡喜仁一〇七七)





今帰仁間切・諸喜田福保勤職書・辞令書

本稿で紹介する古支書は、明治二八年に記された文書である。



福保勤職書条文

これに続く次の条文は、一 全二年五月御冠船二付御銀

り、現存している最初は次のような条文からはじまっている。

藩とされるのが明治五年、琉球藩を廃止して沖縄県を設置したのが明治十二年である。

古吉利村へ罷渡相動申候 古吉利村へ罷渡相動申候 古吉利村へ罷渡相動申候

「福保勤職書」の内容は、諸喜田福保が今帰仁間切の地頭代になるために、彼自身の経歴・業績を年代をおって記したものである。

Table listing dates and events from Meiji 28 to Meiji 30, including '汐掛之時宰領' and '国頭農会委員'.

Table listing dates and events from Meiji 28 to Meiji 30, including '換船宰領', '惣耕作當代理', and '惣耕作當代理'.

Table listing dates and events from Meiji 28 to Meiji 30, including '惣耕作當代理', '惣耕作當代理', and '惣耕作當代理'.

してみると一八三五年（天保六年・道光十五年）に生まれている。

諸喜田福保について、「国頭郡志」（島袋源一郎、三七〇頁）



任今帰仁間切地頭代辞令書

農事の改良奨励及実行に努め成績顕著なるを以て明治四十年十二月三日大日本農会より表彰せられたり」と紹介している。

分に任今帰仁間切地頭代、そして左側に明治二八年九月三十日とあり、その年月日の上に沖縄県印（六・五×六・五センチメートル）が、朱肉で押されている。

諸志チームが優勝

第十四回青年野球大会

村青年会主催による「第十五回青年野球大会」が、九月十九日（日）二十日（日）の両日、

技打に勝る諸志が四対一で優勝を飾った。



若き後継者たち

⑤

酪農を始めて三年 今泊の大城克彦さん

牛舎を訪れた時、やさしい目がいっせいに迎えてくれた。こんな素直な牛たちと暮らす人はきっと幸せな人だろうな、と単純に思った。今回は牛に負けないやさしさを胸に秘め、酪農に精を出す大城克彦さん(二十九歳、字今泊三三七)を紹介したい。

本土で運送業にたずさわっていた大城さんが、熊本の農家に住み込んでの研修を経て酪農を始めたのが三年前の五十四年十二月。先に始めた字の先輩に勧められたのが動機だ。農協貸付牛五頭を北海道から導入するとともに、後継者育成資金を活用し四五〇万円で八十坪の牛舎を建設した。今では成牛二六頭、小牛八頭を飼育し大忙しの毎日だ。

大城さんの日課は、朝七時からエサ入れ、さく乳に始まる。乳の豊富な牛は二日で二五kgもとれ、合計四八〇kgが沖縄県酪農業組合を通じて一日おきに出荷される。さく乳時には一人で

は間に合わず、両親の静治さん花さんが手伝ってくれた。十時から草刈り。草地は借地二千坪を含め三千坪にのぼるが、それだけでは足りず、野草を捜す毎日が続く。堆肥は野菜農家に。ここでも耕畜の扶助がいきています。

飼育面で気を使うのは、エサと適度な運動。エサは、飼料、草、イモ、それに経済連と契約しているパインの皮。その量と種類によって乳の出工合が違うというので、神経を使うところだ。今のところ病気はないが、事故で三頭の牛をだめにした。だから健康管理にも充分気を配る。



▲乳牛の世話に忙しい大城さん

先月十五日の北部畜産共進会

11月は国民年金推進月間 期間中相談・説明会を開催

十一月は国民年金推進月間です。推進月間は、高齢化社会をむかえ、年金制度に対する期待が高まっている中で、今一度年金に対する理解と認識を深めよう。と県、市町村、国民年金協議会が一体となつて進めている

今帰仁村においても、月間中、年金説明会、年金相談、パレード等広報活動を行う予定です。特に今回は保険料の納め忘れや未加入等で年金権があやふまれている方々の個別訪問などを行

日	時	場	所	備	考
未加入者加入勸奨ハガキ					済
未加入者個別訪問					済
未納者督促ハガキ	1日				
年金説明会	8日		各字公民館	婦人青年会	
年金相談	15日		役場		
年金パレード	20日				
年金大会	25日		支所		
未納者個別訪問	26日		支所		

い、一人でも多く年金権の確保を重点的に行う予定です。なお、月間中の予定は次表のとおりですが、年金についてご相談したい方はいつでも役場年金係までお越し下さい。又年金説明会をやってもらいたい方があればいつでも説明会を行いますのでご連絡下さい。

外国人登録について

昭和五十七年十月一日から、外国人登録は次のようにかわりました。

- ◎三年ごとの確認申請(登録証明書)の切替申請について。
- ①十六歳未満の方は、確認(切替)の申請をする必要はなくなり、十六歳に達するとその日から三十日以内に同申請を行うこととなります。なお、出生した時に新規登録をするのはこれまでどおりです。
- ②ただし、十六歳未満の方であっても、すでに甲様式(大人用、手帳型)の登録証明書の交付を受けている場合は、次の③と同様の扱いとなります。
- ③十六歳以上の方は、確認(切替)の申請を五年ごとに行う

税を知る週間

この社会あなたの税が生活している

十一月十一日～十七日

みなさんは税金についてどのような関心をお持ちですか? 総理府の世論調査(昭和五十六年十月調査)によりますと、約七〇%の人が自分の負担する税金や税金の使われ方、仕組みなどに関心を持っています。しかし、税金がどのように使われているかは意外と分かりにくい

わたしたちの身近なところで使われている税金を見ても、道路、公園、下水道の建設に使われたり、学校教育のために役立てられています。このように税金はわたしたちの生活をより豊かに暮らしやすくするために使われています。十一月十一日から二週間は、「税を知る週間」です。税金は社会生活を営む上でなくてはならないものであり、社会の構成員であるわたしたちが負担しなければならぬ「会費」みたいなものであると言えましょう。「税を知る週間」を機会に、税の仕組みや使いみちを正しく理解し、税の大切さを考えてみましょう。

ことになり、今お持ちの外国人登録証明書の十一頁に記載されている年月日からさらに二年を経過する日前三十日以内に確認(切替)の申請を行うこととなります。④昭和五十七年九月三十日において確認申請期限を超過している場合は、その申請を行うまで、上記①の確認申請不要措置や同③の二年延長措置の適用は受けません。

たばこ消費税は暮らしの中に生かされています。



山内氏、今中が学校体育研究で表彰

10月14日新潟県で行われた日本学校体育研究連合会の「昭和57年度研究大会」(文部省後援)で、字仲尾次314の山内昌雄氏(村社会教育指導員)と、今帰仁中学校(祖慶良賢校長)が表彰されました。山内氏の表彰は、永年にわたり学校体育の研究と実践に貢献したというものです。また今帰仁中は、昭和54年から57年まで、沖縄県教育委員会の体力づくり推進校の指定を受け、体力向上に大きな効果をあげた、というものです。



▲山内昌雄氏

村上氏が法務大臣表彰

人権擁護委員の村上仁賢氏(字兼次944)が、9月29日に行われた沖縄県人権擁護委員連合会の席上、法務大臣より表彰されました。表彰は、永年にわたり地域社会の人権思想の普及・高揚に尽力されたというものです。



▲村上仁賢氏

大城氏が平沼記念章を受章

字兼次5番地の大城秀昭氏(名護商教員)に、10月6日、日本陸上競技連盟より平沼記念章が送られました。この章は中・高校生の指導者として特に功績のあった人に贈与されるもの。大城氏が育てた中には、大城康則(棒高)与那嶺吉文(走巾)仲本満(走巾)大嶺敦(三段)与那嶺誠(やり)玉城武(400H)上地章子(走巾、100H)与那嶺理世(100H)与那嶺愛子(走巾)比嘉昭子(400、800)平良真須美(400、800)などの優秀な選手がおり、それぞれ県大会、国体で活躍しました。



▲大城秀昭氏

普天間さんが厚生大臣表彰

字天底143の普天間和子さんが、10月14日石川県で行われた「昭和57年母子保健家族計画全国大会」の席上、厚生大臣より表彰されました。普天間さんは、多年にわたり母子保健の向上及び家族計画の普及に尽力されており、表彰はその功績が顕著であるというものです。



▲普天間和子氏

沖縄三七年のあゆみ 販売中!

沖縄が本土に復帰して十周年を迎えましたが、県ではこれを記念して写真集「沖縄三十七年のあゆみ」を発行しました。○サイズA四版 ○ページ数一二〇ページ ○収録写真約五五〇葉(カラー写真約三〇〇葉)



○定価一千八百円(送料別三五〇円)
○問い合わせ沖繩県広報協会(県広報課内)電話〇九八八—六六一—二〇二〇
○販売先文教図書北部営業所(〇九八〇五—二二—二五三)

なきじん版

11月1日～12月1日

村民カレンダー



11/1月		17水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
2火	○母親学級 (13:30~16:30、中央公民館)	18木	○身体状況調査 (13:00~18:00、仲尾次公民館、指定された30世帯)
3水	○文化の日 ○第9回老人婦人スポーツ大会(9:00、村営グラウンド) ○第9回やんばる展(北部会館、名護博物館準備室、7日まで)	19金	○家庭教育学級 (14:00、中央公民館)
4木		20土	○ホッケー教室 (15:00、村営グラウンド) ○乳幼児学級 (14:00、中央公民館)
5金	○定例区長会 (14:00、役場ホール)	21日	○乳児一般健診 (9:00~15:00、役場ホール) ○第6回村内各団体ソフトボール大会 (9:00、村営グラウンド)
6土	○乳幼児学級 (14:00、中央公民館) ○ホッケー教室 (15:00、村営グラウンド)	22月	○愛の献血 (10:30~15:30、村役場) ○定例区長会 (14:00、役場ホール) ○高齢者教室 (13:00、中央公民館)
7日	○ホッケー教室 (9:00、村営グラウンド)	23火	○勤労感謝の日
8月		24水	○母親学級 (13:30~16:30、中央公民館) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
9火		25木	○定例農業委員会 (10:00、役場2階研修室)
10水	○母親学級 (13:30~16:30、中央公民館) ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)	26金	○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場) ○中央婦人学級 (10:00、村外)
11木		27土	○健康相談 (9:00~12:00、保健婦駐在所) ○ホッケー教室 (15:00、村営グラウンド)
12金		28日	○ホッケー教室 (9:00、村営グラウンド)
13土	○健康相談 (9:00~12:00、保健婦駐在所) ○ホッケー教室 (15:00、村営グラウンド)	29月	
14日	○県知事選挙、参議院議員選挙投票日 ○ホッケー教室 (9:00、村営グラウンド)	30火	○村公連研修会 (14:00、中央公民館)
15月	○さとうきび交渉 (19日まで) ○村公連役員会 (15:00、中央公民館)	12/1水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
16火	○母親学級 (13:30~16:30、中央公民館) ○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場)	2木	

霜月・神楽月といわれる十一月。文化の日が三日、勤労感謝の日が二十三日と二日の祝日がある。七五三の祝いもこの月。また一日から七日までは、文化財保護週間である。

■先月二日、リゾートステーションがひっそりと閉鎖した。村のシンボルが一つ消えた。同所は海洋博以来村の観光の拠点として、また村民の憩いの場として大きく貢献してきた。閉鎖に至るまでの経営問題は別にして村の観光基盤・施設が脆弱だったという事実も否めない。

■松の紅葉と称した人がいる。それほど中部一帯にマツクイムシが蔓延している。何十年何百年育てた松が切り倒されるのは見るにしのびない。村でもポツポツ見られるが、被害は未然に最小限に食い止めたものである。

■文化の日に寄せて、黒島氏に執筆を依頼した。その中でもやはり自然の素晴らしさを説いている。文化と自然は村民の共有財産といえるのではないだろうか。

編集後記

